ROYAL MANSOUR MARRAKECH

ロイヤル マンスール マラケシュ

www.jhrca.com/worldhotel/?cat=42
https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。

これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

筆者 小原 康裕
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974 年 Munich Re 入社。2001 年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会常務理事。
SKAL International Tokyo、Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連協会アドバイザリーボードメンバー。
www.jhrca.com/worldhotel/?cat-42　www.hoteresonline.com
https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16

マラケシュ、何という遠き異国の響きであろうか。
マレーネ・ディートリヒの往年の映画
「モロッコ」の世界が浮かんでくる。

ロイヤル マンスール マラケシュ「Royal Mansour Marrakech」の正門。この正門を抜けると正面エントランス車寄せがある。
モロッコ王室が 2010 年にオープンしたモロッコ随一のリュクスなホテルだ

ROYAL MANSOUR MARRAKECH
ロイヤル マンスール マラケッシュ

Royal Mansour Marrakech

ロイヤル マンスール マラケシュ「Royal Mansour Marrakech」はモロッコ王室が 2010 年にオープンしたモロッコ随一のリュクスなホテルだ。旧市街 " メディナ " を再現した敷地にある 53 室の部屋はすべて " リヤド "、つまり一戸建ての贅沢なスタイルになっている。ここはホテルの概念を越えた別格の存在で、まるで王族の一員になった様な非日常を満喫できる。一番小さなリヤドでも、１階が玄関とリビング、２階が寝室とバスルーム、３階が屋上テラスとなった邸宅スタイルだ。オープンエアのテラスでは青空の下、マラケシュ市街を望みながら付帯したプールで楽しむことが出来る。

ロイヤル マンスールはマラケシュ旧市街を囲む塀の内側３ヘクタールもの土地に建ち、敷地内に一歩足を踏み入れると、そこはモロッコの多彩な伝統工芸の粋が集結したひとつの街のようだ。ロビーエリア中央には小さな噴水と水路があり、アルハンブラ宮殿を模したマラケシュのオアシスの空気が流れる。床や柱を埋め尽くす幾何学模様 " アラベスク " のタイル貼りはモロッコの伝統職人技がふんだんに使われている。レセプションルームも絢爛豪華の空間で、スタッフはモロッコの各地方の民族衣装をモダンにアレンジした制服に身を包み、異国情緒たっぷりである。

今回は 175 ㎡の広さを持つリヤド「Premier one Bedroom Riad」を紹介したい。アラビアンナイトを彷彿させる一戸建てのスイートで、キッチンが備わり、リビングの大型デスクにはゲストの名を印字したステーショナリー類も用意される。レストランはミシュラン星のレジェンド、パリ「Ledoyen」のオーナーシェフ Yannick Alleno 氏が統括して、料理のクオリティはすこぶる秀逸だ。インターナショナル料理の「La Table」をはじめ、極上のディナーにはモロカン クイジーヌ「La Grande Table Marocaine」と本格的フレンチ「La Grande Table Française」があり、ヤニック・アレノの洗練された料理の数々を堪能できる。スパ施設「Royal Mansour Spa」のエントランスは真っ白なアラベスク模様の透かし彫りの漆喰を贅沢に取り入れた夢の空間を演出している。

ロイヤル マンスールはゲストに空港 VIP サービスを提供しており、提携の係員がマラケシュ空港での諸手続きをサポートしてくれる。さらにベントレーのリムジンが待機してスムースにホテルまで送迎。ホテル正面エントランス車寄せにはスタッフが整列してゲストを迎える。まさに千夜一夜の世界を体験できるモロッコ王室のホテルだ。

①

②

③

④

⑤

①スパ施設「Royal Mansour Spa」のエントランス。真っ白なアラベスク模様の透かし彫りの漆喰を贅沢に取り入れた夢の空間を演出している
②ロビーエリア中央には小さな噴水と水路があり、アルハンブラ宮殿を模したマラケシュのオアシスの空気が流れる
③ホテル正面エントランス車寄せにはスタッフが整列してゲストを迎える
④レセプションルームはアラベスク模様が美しい絢爛豪華な空間だ
⑤ロイヤル マンスール マラケシュ GM の Jean-Claude Messant 氏と会談

ROYAL MANSOUR MARRAKECH
ロイヤル マンスール マラケッシュ

①

⑥

②

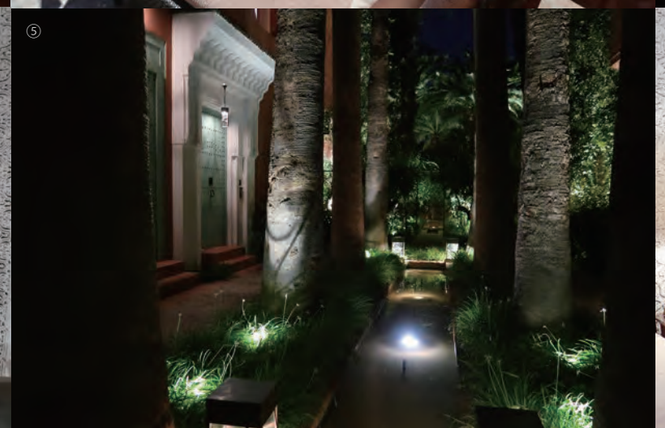
③

⑦

① 75㎡の広さを持つリヤド「Premier one Bedroom Riad」のリビングルーム。旧市街 " メディナ " を再現した敷地にある 53 室の部屋はすべて " リヤド "、つまり一戸建ての贅沢なスタイルになっている
②ホテル側からのウェルカムアメニティー
③オープンエアのテラスにはプールも付帯している
④夜間の照明が美しいリヤドの内玄関
⑤一戸建てリヤドのエントランスアプローチ

⑥ 2 階部分のベッドルーム。ロイヤル マンスールのリヤドは、1階が玄関とリビング、 2階が寝室とバスルーム、 3階が屋上テラスとなった邸宅スタイルだ
⑦ベッドヘッド上の壁面は緻密な " アラベスク " 文様で飾られている
⑧気品あふれる質感のベッドサイド
⑨広い面積を確保したゴージャスなバスルーム

④


⑤

⑧

⑨

ROYAL MANSOUR MARRAKECH
ロイヤル マンスール マラケッシュ

①

⑥

②

③

⑦

①インターナショナル料理の「La Table」の室内。レストランはミシュラン星のレジェンド、パリ「Ledoyen」のオーナーシェフ Yannick Alleno 氏が統括している
②ジャズの生演奏が入るラウンジ「Chimney Lounge」
③落ち着いた雰囲気のメインバー「Royal Mansour Bar」
④ロイヤル マンスールの広大な庭園は緑と光があふれる
⑤その広大な庭園の一角にあるオープンエアのスイミングプールとガーデンレストラン「Le Jardin」

⑥モロカン クイジーヌ「La Grande Table Marocaine」のエントランスホール。床や柱を埋め尽くす幾何学模様 " アラベスク " のタイル貼りはモロッコの伝統職人技がふんだんに使われている
⑦本格的モロカン クイジーヌを堪能できる「La Grande Table Marocaine」
⑧レストラン内ではモロッコの伝統音楽が奏でられる
⑨メートル・ドテルもモロッコの伝統衣装でサービスする

④

⑤

⑧

⑨